

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
1	1-2(1)③	子どもと地域住民の参画の推進	公園緑地課の事業総括を拝見したが、そもそもの目標設定の考え方は？	公園の利用対象者は制限がないことから、子どもに特化した目標設定を行い、事業を実施することは困難です。そのため、このような当該計画の目的に沿って事業の実施が困難な所属について、第2期目の計画を策定する際に、精査し、計画への位置づけを検討したいと考えています。	子育て支援課
2	1-2(1)③	子どもと地域住民の参画の推進	「公園は、利用対象者に制限がないから、子どもに特化した整備を行うことは困難」とのことだが、利用対象者、及び遊具利用者の割合についてはどう想定しているのか？ 子どもの利用割合等も想定して、遊具配置や安全対策も含め考え方を整理するのでは？	現時点での公園利用対象者及び遊具利用者の割合について、正確な数値を把握してはおりませんが、遊具の新設につきましては、公園の属する自治会と調整を図りながら、遊具の選定を実施しております。	公園緑地課
3	1-2(2)①	子どもに対する情報提供の充実	「にこにこ☆元気」、「はっぴいういんど」、「やちよキッズ」の認知度は(ビュー数/日)？ また、認知度向上のため取り組んでいることは？ 各担当課が作成しているHPを束ね、ポータルサイトとして認知度向上を図ってみては？	H28年度の「にこにこ☆元気」の1日のアクセス数は7.6件、「はっぴいういんど」の1日のアクセス数は1.2件、「やちよキッズ」の1日のアクセス数は1.7件となっております。 認知度向上のため、子育てハンドブックにサイトの情報等を記載し、ホームページにはバナーを貼るなどの取り組みを行っています。 各サイトを束ねてのポータルサイトとしての認知度向上については、3つのサイトの目的が異なるため、困難ではありますが、関係課と調整を行い、サイト同士をリンク付けするなどの検討を行ってまいります。	子育て支援課
				主催講座や新しい取り組みなどは市HPの新着情報にも掲載し、情報は「はっぴいういんど」からリンクできることをPRします。	青少年課
4	1-2(2)①	子どもに対する情報提供の充実	近年、新聞をとっている世帯が多いので、広報やちよの内容を知る機会も減っています。幼稚園や保育園でも広報やちよの内容を配布する機会があれば良いと思います。	新聞購読を行っていない方でも、広報広聴課へポスティングサービスの申し込みを行うことで、広報やちよの入手が出来ます。また、マチイロ(スマートフォン向けアプリ)でも、ご覧いただけるため、幅広い方に広報やちよをご覧いただける環境は整っております。	子育て支援課

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
5	1-3(2)①	地域子育て支援ネットワーク事業の推進	「切れ目のない支援」について、自治体ができる支援についてのお考えは？	利用者支援事業を平成28年10月より開始し、妊娠期から子育て等の相談に応じ、教育・保育施設や地域の子育て支援事業などについての情報提供を行っています。子育て支援課、すてっぷ21大和田及び保健センターにて実施しています。	子育て支援課
				母子保健事業である母子健康手帳交付や健康相談、健康診査などの事業を通して、支援が必要な方へは家庭訪問や面接、電話などの方法で支援を行い、更に必要に応じて関係する機関と連携をとるなど、切れ目なく必要な支援が行き届くよう体制を整備することと考えています。 また、母子健康手帳の交付や乳幼児の健康相談事業を、身近な地域で受けられるよう地域の子育て支援拠点で実施することで、日頃から子育て支援拠点の利用につなげ、身近な場所で子育ての相談や情報提供ができることを目指しており、母子保健事業と子育て支援事業の連携強化により、切れ目のない支援の充実につながると考えています。	母子保健課
6	1-3(2)②	子育て学習講座の開催	子育て学習講座の参加者について、事前の目標設定は？	2歳児前後を持つ親を対象に「子育てにおけるコミュニケーションを具体的に学ぶことで子どもの行動の見方、具体的な言い方、伝え方がわかる、子どもとのより良いコミュニケーションができるようになる。」ことを目的にしています。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
7	1-3(2)②	子育て学習講座の開催	もっと悩んでいる人は潜在的にいると思う。今回実施しなかった地域でも開催してみてもどうか？	現在は実施する日程場所を全センターでポスターを配布し、多くの方が参加できるようにしています。今後、他の地域での開催ができるように検討していきます。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
8	1-3(2)②	子育て学習講座の開催	参加者の継続的な経過観察を行えば、自治体が行った講座のトレースができるのでは？	参加者が子育て学習講座を学んだことでその後、センターを利用した時に経過観察をし子育てアドバイザーや保健師と関わる機関と連携して、より継続的な支援ができるようにと考えております。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
9	1-4(1)④	保育園、学童保育所の優先利用の検討	保育園・学童保育への入所は、一人親家庭にとって家計を支えていく上で最重要課題だと思います。入所できた世帯の割合は、常に100%に達することができる安心感が大切になるのではないかと思います。	保育園入園について、利用調整の際に加点等を実施しております。入園の時期にもよりますが、定員に空きがない園を希望された場合等、入園できない場合があります。 学童保育所入所について、申請書の審査の段階で、ひとり親家庭の方には加点を実施しておりますが、希望された学童保育所の定員に空きがない場合等、入所できない場合があります。	子育て支援課

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
10	2-1(2)①	保育園での子育て相談及び情報提供	幼稚園においても同様の取組を行うことはできないでしょうか。また、相談に応じるだけでなく、実際に保育に参加・体験することで、子どもの発達や子どもへの関わり方を体得する機会があると良いかと思ます。	市内幼稚園は私立のみのため、幼稚園の取組について、市で計画策定や指導等は行っておりませんが、今後、幼稚園との調整を含め、対応を検討します。	子育て支援課
11	2-2(1)①	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)の充実	時々利用しておりますが、仕事をしている中お願しているので、相談受付時間が16時までというのが早い気がします。せめて17時までであると、仕事が終わってから連絡できるママも増えるのではないかと思います。	緊急の場合は16時の閉所以降でも地域リーダーと連絡をとり相談することが可能です。その際の連絡先は、各会員に配布し、会員登録時に確認しております。	子育て支援課 (子ども支援センターすてつぐ21勝田台)
12	2-2(2)③	一時預かりの実施	一時預かりが気軽に活用できるよう制度設計を行った方が良いのでは？ 未就園児家庭での子育てには、定期的なりフレッシュの時間は絶対に必要だと思ます。また、八千代市は近隣に親類のいない子育て家庭も多く、現状でその時間捻出を父親のみに依存することは、労働環境等から勘案すると困難だと思ます。	保育園における一時預かりについては、地域のお子さんを預かる事業であるため、保護者側からすると手続き等不便であると感じることもあるかもしれませんが、手続きが必要となりますことご理解ください。	子育て支援課
13	2-3(1)①	幼児教育の推進	幼稚園教諭と保育士の合同研修会の実施は、相互理解を進める上で意義あることと思ます。新制度の実施により「保育教諭」の文言を加えてはどうでしょうか。 参加者の意見交換・協議・実践発表などを通して、交流ができることを期待します。	いただいたご意見を参考に、今後の対応を検討します。	子育て支援課
14	2-3(1)①	幼児教育の推進	合同研修会の対象に小学校教員も含めることにより、幼児期の教育への理解が進むとともに、教育内容の充実にもつながると思ます。	幼・保・小の円滑な連携に向けて、今後の対応を検討します。	子育て支援課
15	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携	積極的に今後とも連携すると子どもたちの成長・地域愛醸成等につながると思ます。 シニアも含めた「多世代交流」が促進できるような取り組みを期待します。	シニア世代との交流も含め、幼・保・小の円滑な連携に向けて、今後の対応を検討します。	子育て支援課
				「多世代交流」では、長寿会交流の場「ふれあい教室事業」で、保育園などで昔の遊びを体験する機会を持ち、子ども達と地域の高齢者との交流を行っています。	子育て支援課 (ゆりのき台保育園)

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
16	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携	子ども間の交流の取組はぜひ継続していただきたいことです。交流を重ねる中で、先生方の連携が進むことを期待します。併せて、教職員の相互参観の機会があると良いかと思えます。(幼・保の小学校授業参観、小教員の保育参観・保育体験)	引き続き、幼・保・小の円滑な連携に向けて対応を検討します。	子育て支援課
				今後も就学前の小学校との交流会を継続し、あわせて職員間の連携などを図っていきます。また保育園で小学校教諭の実習を受け入れ、保育体験の機会を設けています。	子育て支援課 (ゆりのき台保育園)
				小学校では、生活科の学区探検や国語での読み聞かせ等、幼・保・小連携に向けた取組を行っています。また、八千代市の小中学校では、公開研究会(平成29年度は16校の予定)や学校公開日等を設定しています。こうした機会を活用する等、各関係機関と連携しながら取り組んでいく予定です。	指導課
17	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携	改定告示された新幼稚園教育要領(平成30年度実施)には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されました。小学校教育との円滑な接続に向けて、教育課程のつながりに視点をあてた実践が進められることを望みます。	いただいたご意見を参考に、今後の対応を検討します。	子育て支援課
				幼・保・小連携のため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、円滑な接続を行っていく必要があります。今年度も10月19日に行われる八千代市幼稚園教諭・保育士合同研修会において指導課指導主事が参加し「小学校入学までに育ってほしい姿」について研修を行う予定です。今後も各関連課と連携し、教育課程の円滑な接続に向け、取り組む予定です。	指導課
18	2-4(1)①	学童保育所の拡充	今後とも学童待機児童増加が予想される地域については、先行して手を打った方が良いと思います。	現在待機児童が多く出ている地域で、可能なところから拡充を実施しております。	子育て支援課
19	2-4(1)①	学童保育所の拡充	学童は各小学校に1か所ずつあった方が良くと思う。子ども達は、学校が終わると家に帰りたいのが心情だから。	教育委員会等と検討した結果、小学校内に余裕教室があり、学童保育所が実施できる状況であるところから順次開所しておりますが、今後も、学校内学童保育所の設置に向けて、教育委員会等と検討してまいります。	子育て支援課
20	2-4(2)①	放課後子ども教室の拡充	放課後子ども教室をおおいに推進して欲しい。シニアや大学生のボランティアを活用してはどうか。	現在、放課後子ども教室実施校におきましては、大学生やシニアボランティアにお越しいただいて、折り紙、ゲートボール、ベーゴマ等実施し子ども達とかかわって頂いております。	子育て支援課
21	3-3(1)⑥	実費徴収に係る補足給付を行う事業の検討	経済的支援のひとつとして、今年度達成できたらと思えます。	実費徴収に係る補足給付を行う事業については、実施時期を含め、近隣市の実施状況等について引き続き調査等を進めてまいります。	子育て支援課
22	3-4(1)①	子育て支援ネットワークホームページの充実	アクセス状況はどうか？市のHPのトップページからアクセスしようとしても、階層が深く、見つけにくい。「情報提供」という意味では、イベント情報なども得られる。もっと気軽に多くの人が見られるページになって欲しい。	H28年度の「にこにこ☆元気」の年間アクセス数は2,786件となっております。NO.3のとおり、見やすさを検討してまいります。	子育て支援課

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
23	4-1(4)⑤	児童館の設置の検討	児童館設置について、なぜこれまで整備しなかったのか？ 今後整備する意向はあるのか？整備にあたっての課題、その解決に向けてどのようなスケジュールで進めていくのか？	本市といたしましては、子ども支援センターや地域子育て支援センター及び放課後子ども教室において、子どもの居場所を提供しており、児童館の整備ができていない状況です。 なお、今後も引き続き子ども・子育て支援事業計画に基づき、児童館設置の有無等を含めて検討してまいります。	子育て支援課
24	5-1(1)①	パパとママの子育て教室	パパの意識付けはどのように行っているのか？ 「夫婦で子育てをする意識」の具体的なイメージを持たせるためにどんな取り組みをしたのか？ 時代が変化しており、この教室参加の際にいかに意識付けをするかが重要だと思います。	赤ちゃんと生活するイメージや、夫婦で協力して子育てをする意識を高められるよう、夫婦で講話を聞き、沐浴などの実習は父親を中心に夫婦で体験する内容で構成しています。 また、父親・母親のグループに分かれて父親は「出産後ママに協力してあげたいと思うこと」母親は「出産後パパに協力してもらとうれしいこと」というテーマで座談会を行い、それぞれのグループから出た意見を発表してもらい、共有しています。 事業実施後のアンケートでは、99%の人から「夫婦で協力して子育てすることや、パパの役割の大切さを感じることができた」との回答を得ています。また、「父親の役割を考えながらがんばりたい」という感想も聞かれ、夫婦で子育てをする意識付けの機会になっていると考えています。	母子保健課
25	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	「お父さんと一緒にあそぼうよ」において、父親同士の交流をどのように促したのか？ 母親についてだけでは不十分で、なんだかの仕掛けが必要だと思います。	「お父さん一緒にあそぼうよ」の中で父親同士が自己紹介をしたり、親子でふれあい遊びをするなど交流時間を持つようにしています。パパ冊子の配布や父親へのアンケートを実施し、自分の子育てを振り返ったり、意識するきっかけ作りになっています。 平日、母子が利用している施設にこの事業をきっかけに自らの意志で来所する父親の姿も見られます。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
26	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	すでに父親の育児参加があたりまえの時代に移行しつつあることから、イベントの頻度を増やすよりも、土日開放を定期的に行い、自然に父親がこどもと遊べる場を提供する方が効果は大きいと考えます。	地域子育て支援センター・子ども支援センターでは年1～2回のどちらか「お父さんと一緒に遊ぼうよ」を開催して日頃、来所できない父親にセンターを知ってもらい、親子で触れ合う機会を持っています。 総務省「社会教育基本調査」によると、6歳未満の子どもがいる夫の家事・育児時間は他の先進国に比べて低い水準です。また、男女共同参画センターには遊べる場としての設備が整っておりませんので、引き続き父親と子どもの講座を実施することで父親の育児への参画の推進を図ってまいります。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)  男女共同参画課
27	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	「パパとつくるランチプレート」のような講座は継続的に開催するのが望ましいと思います。	今後も引き続き実施していく予定です。	男女共同参画課

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
28	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	すてっぷ21の「お父さんと一緒にあそぼうよ」は子どもが赤ちゃんの頃から毎回のように参加しています。パパ達は土曜日に早起きが苦手なので、9時から13時半よりは、もう少し開始と終了を遅くしたら、参加者も増えるのではと思いました。	開催時間について開始時間は平日と同様とし、普段通りの雰囲気味わってもらっています。ランチタイムまでということにしていますがお父さんの来所が増える工夫をして、時間帯も検討していきたいと考えております。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
29	6-1(3)②	地域子育て支援センターにおける支援の充実	すでに父親の育児参加があたりまえの時代に移行しつつあることから、イベントの頻度を増やすよりも、土日開放を定期的に行い、自然に父親が子どもと遊べる場を提供する方が効果は大きいかと考えます。	地域子育て支援センター・子ども支援センターでは年1~2回の「お父さんと一緒にあそぼうよ」を開催して日頃、来所できないお父さんたちにセンターを知ってもらい、親子でふれ合う機会を持っています。また、父親にアンケートを取り、父親に向けた子育てに関わる情報提供していきたいと考えております。	子育て支援課 (地域子育て支援センター)
30	6-2(1)①	子育て支援に係る人材の育成	新川わくわくプレーパークはなぜ終了したのか？	県の広域公園用地を借用し、新川わくわくプレーパーク事業を実施しておりましたが、県の広域公園の事業進捗に伴いまして、原型復旧し返還することとなりましたことから、平成28年8月末で終了といたしました。	子育て支援課
31	7-2(1)②	道路整備の推進	「大和田新田吉橋線排水整備工事」が子育て支援にどう関係しているのでしょうか？	八千代市子ども・子育て支援事業計画の4章の部分については、八千代市における保健・医療・福祉・教育・まちづくりなど、あらゆる分野の施策を、子どもや子育て家庭の視点に立って実施することから、子育て支援に直結していない事業も含まれております。	子育て支援課
32	7-2(1)⑥	赤ちゃんの駅の設置	赤ちゃんの駅の設置想定時期、および設置に向けた課題は？	予算の確保が課題となっております。事業化に向け、予算確保に努めてまいります。	子育て支援課
33	7-3(1)②	市民防犯パトロールの促進	近年、防犯パトロール隊の高齢化が進んでいます。若い世代も参加できる工夫などもあればと感じます。	幅広い世代に対して、防犯への関心を持ってもらうため、大型店舗や駅周辺でのビラ配りなどの啓発活動を積極的に行います。	生活安全課
34	5章	教育・保育及び地域型保育事業達成状況	教育・保育及び地域型保育事業達成状況について、達成できていない部分についての今後の対応の考え方は？	新たな認可保育所の整備をはじめ、認定こども園の拡充や既存施設の増改築及び公立保育園の老朽化対策に合わせた定員の拡大を図ることによる、取り組みを行ってまいります。	子育て支援課

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
----	------	-----	----	----	-----

以下のご意見につきましては、事業に直接関連しませんので、個別に市の考え方をお示しませんが、今後の事業計画を推進するにあたっての参考とさせていただきます。

その他のご意見等(事業に関する意見以外)					
No	事業番号	事業名	内容		
1	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携(指導課)	指導要領→指導要録の誤りです(各2か所) 保育要領→保育要録(正しくは保育所児童保育要録)		
2	6-1(1)①	自治会活動の推進	長年住んでいる方が多い地域に、新しい方達が引っ越して来た際に、近所の人との交流が図れず自治会未加入のままの方もいるので、その年の代議員さん等が声かけをしていくのも大切ななと思います。		
3	6-1(2)②	子育て支援ボランティアの促進	すてっぷ21勝田台でボランティアさん達に大変お世話になりました。自分の母には反発して相談できないことなども、母と同じ世代のボランティアさんとは話すことができたり、食育の相談もたくさんさせていただきました。		
4	1-4(3)	外国籍の親を持つ子どもやその家族への対応の充実を図ります	外国籍の親子の一番大切なことは、居場所の確保です。日本では、外国籍として特別視されがちです。ところが、ふるさとに帰ると、今度は日本人と結婚したのだからと、日本にいる時と同じで窮屈な毎日を送ることになります。ですから、ポジティブな考えを持つように強い親子に育てなければなりません。		
5	1-4	支援を要する子ども・子育て家庭への支援の充実	ある障害児を持つ家族が千葉に引っ越すことになり、選んだところが八千代市でした。その理由は障害児に優しいからということでした。この達成状況を読みますと、それが証明されています。今後さらに推進していくために、教育委員会が核となったコミュニティスクールとして推進していくか、子育て支援課が中心となってノーマライゼーションを図っていくかがカギになると思います。今から30年前の公立の養護学校は、34校ありましたが、市立市川養護学校を除いて全部、交通の不便な周りに家が立ち並んでいないところでした。丘の上に建てられた養護学校の下に住民から、下水道から流れるものから伝染病になると抗議することもありました。八千代養護学校も人里離れた交通の便の悪いところで、夜は街頭すらない危ないところでした。ところが、東葉高速が開通して一等地となり、街の中心に活動する学校になりました。啓蒙活動からノーマライゼーションが具体化していくこと、間違いありません。支援で一番大切なことは、両親教育の充実です。両親が障害児を見守ることが一番大切なことです。障害児を育てることは大変なことです。しっかりと役割分担をしていくことが、障害児の幸せにつながります。		
6	2-3	一人ひとりが大切にされる教育・保育の推進	幼児教育と学校教育の連携で大切なことは、教える側が幼児・児童をしっかり把握することです。そのためには、学区に所属する幼稚園児・保育園児を学区の小学校に招いて、1年生が店を出したりと一緒に遊ぶことです。これは、1回だけでは把握できませんので、学期に一度計画をします。また、小学生が、幼稚園・保育園を訪問して、一緒に遊びます。最近、小学低学年の先生から、幼稚園で平仮名や漢字を教えないでという苦情が出ています。幼稚園の先生方の書き順が間違っていて、入学してから混乱があるからです。ですから、まず、先生方がしっかりと勉強することです。私は、学校訪問しますと、まず、学校教育目標を見ます。9割9分目標は、子どもたちに強いられたものです。「……子」という類です。そうした場合、教師の姿勢が問われるものですが、教師の姿勢については、ほとんどありません。子育て支援も同じことです。見通しを持って指導する人材を確保して、まとめる人と一致団結して取り組まなければ机上の論理に走ってしまいます。		
7	2-4	学齢期の放課後支援の推進	学童で宿題をしているが、わからない所はそのままにしている。家でも親は教える時間がない。1年から3年の勉強は基本です。勉強嫌いの子どもを作らないよう、学童でも教えて欲しい。		
8	3-1	母子の健康づくりの推進	ファミリー・サポート・センター、子ども病院など、預ける所があるが、手続きがあつたり遠かつたりする。地域に1か所ずつ近くに預ける場所があつたら良いと思う。		

八千代市子ども・子育て支援事業計画への意見書(回答)

資料29-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
9	基本目標4	子どもや親が、共に学び成長することができる	とても大切なことです。ただ、共に楽しむだけでは、成長しません。共に苦しむことがより大切なことで、これを集団の中で達成できることを具体化していく必要があります。苦しむことは、本人にとってとてもつらいことで、できれば避けたいものです。あるテニス教室で女性のクラスのコーチが、生徒がミスを連発しても指摘しません。指摘すると、生徒たちはむっときて辞めてしまうということでした。そうして、大人になりましたから、ブラック幼稚園、ブラック保育所が問題になっています。		
10	基本目標5	仕事と子育てを両立することができる	私事で恐縮ですが、私が生まれて100日目に父が病死しました。幸い祖母が健在で孤立することはありませんでした。その中で今でも耳に残っているのは、仕事から帰ってきた時の「ただいま」という元気な声です。看護師として誇りを持っていましたので、一日仕事をやり遂げたという自信に満ちた声に、自然と励まされていたのです。生活の中にそういうことが満ちあふれているものです。		
11	全体		八千代市(及び近隣市)は、近くに親類がおらず、父母のみで子育てを行う家庭が非常に多いのではないかと思います。よって、家庭だけでなく地域全体で子育てができるような環境・きっかけづくりが継続的に必要だと考えます。計画の実践に当たって、この点を考慮しておくことによりよい計画になるのではないのでしょうか。		
12	全体		ほとんど全ての事業がAランクになっていたのも、八千代市はすばらしい市です。でも、会議や啓蒙をしても、人の心はついていけないように感じます。親の心子知らず、子どもの心親知らずで、仕事を優先するのか、子どもを優先するのか、世の中のことに矛盾を感じます。私自身子ども食堂のお手伝いをしたり、放課後子ども教室のお役に立てたらと思います。何かできることがないか考えています。		